

浅口商工会管内業況(DI)調査

令和4年7～9月調査分

調査期間 令和4年7月～9月

調査方法 経営指導員による訪問調査

調査対象企業 浅口商工会管内の小規模事業者25事業所

(内訳)

鴨方	金光	寄島	里庄	
11	5	3	6	25
44.0%	20.0%	12.0%	24.0%	100.0%

調査結果の概要

<全体 ～仕入単価DIが大幅悪化に伴い、収益状況DIに悪影響～>

- ・売上高はマイナス水準であり、見通しは一層厳しい。
- ・売上単価は一部上昇出来ている先もあるが、仕入単価の上昇は全体的で見通しも厳しい。
- ・在庫は若干のプラス水準。
- ・資金繰りは極めて厳しい状況。見通しも大きく改善せず。
- ・借入難度は若干厳しい状況。見通しも同様。
- ・収益状況は極めて厳しい状況。見通しは一層厳しい。
- ・設備投資の不足感は16.0ポイント。
- ・雇用人員の不足感は28.0ポイント。

<業種別業況>

- ・売上高は特に建設業で大幅低下。
- ・売上単価は特に建設業で価格転嫁が進んでいない状況。
- ・仕入単価は全業種で上昇。特に飲食・宿泊業、サービス業で顕著。
- ・在庫は製造業、卸小売業で減少。
- ・資金繰りは特に飲食・宿泊業で厳しい状況。
- ・借入難度は特に飲食・宿泊業で厳しい状況。
- ・収益状況は製造業を除く業種で悪化。見通しでは全業種悪化。
- ・設備投資は特にサービス業で不足感。
- ・雇用人員は製造業で不足感。

<売上状況>

- ・月商1,000千円以上3,000千円未満の会社の割合が低下傾向。
- ・4月～6月にかけ、500千円未満の会社が増加傾向。

<業況推移>

- ・前回調査より全体的に悪化傾向。仕入単価、収益状況で顕著。

<経営課題と取り組み>

●経営上の問題

一位の最多は「仕入価格の上昇」。

回答総数では、最も多いのは「仕入価格の上昇」、次いで「燃料費・物流費などの経費の増加」。

●経営改善対策

一位の最多は「販売・受注・出荷数量の増加」。

回答総数では、最も多いのは「経費の削減」、次いで「販売・受注・出荷数量の増加」。

<目次>

【令和4年第三四半期分】

1. 業況調査(DI)集計(全体)	1ページ
2. 業種別業況調査(DI)集計	10ページ
3. 売上(月商)状況集計	15ページ
4. 経営上の問題	16ページ
5. 経営改善対策	17ページ
6. 業況調査(DI)時系列集計	18ページ
7. 自由回答	21ページ

1. 業況調査（DI）集計（全体）

【令和4年第三四半期分】

浅口商工会

鴨方	金光	寄島	里庄	
11	5	3	6	25
44.0%	20.0%	12.0%	24.0%	100.0%

1.製造業	2.建設業	3.卸小売業	4.飲食・宿泊業	5.サービス業	
5	5	5	5	5	25
20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	100.0%

【売上高（完成工事高・加工高等）今期（R4年7月～9月）の状況：前年同期（R3年7月～9月と比べて）

売上高は減少の回答が最も多くなっています。
 売上高が上昇と回答した割合は24.0%でした。
 業況判断DIはマイナス28.0ポイントと極めて厳しい状況にあります。

1.増加	2.やや増加	3.不変	4.やや減少	5.減少	未回答	
2	4	6	6	7	0	25
8.0%	16.0%	24.0%	24.0%	28.0%	0.0%	100.0%

増加	不変	減少	増加－減少
24.0	24.0	52.0	▲ 28.0

【売上高（完成工事高・加工高等）来期（R4年10月～12月）の見通し：前年同期（R3年10月～12月と比べて）

今後の見通しはやや減少の回答が最も多くなっています。
 売上高が上昇すると見込む割合は12.0%です。
 業況判断DIはマイナス44.0ポイントと極めて厳しい状況が見込まれています。

1.増加	2.やや増加	3.不変	4.やや減少	5.減少	未回答	
1	2	8	12	2	0	25
4.0%	8.0%	32.0%	48.0%	8.0%	0.0%	100.0%

増加	不変	減少	増加－減少
12.0	32.0	56.0	▲ 44.0

【売上単価(加工・受注単価等)今期(R4年7月～9月)の状況:前年同期(R3年7月～9月と比べて)

売上単価は不変の回答が最も多くなっています。
 売上単価が上昇と回答した割合は40.0%でした。
 業況判断DIは28.0ポイントと高水準にあります。

1.上昇	2.やや上昇	3.不変	4.やや低下	5.低下	未回答	
1	9	12	2	1	0	25
4.0%	36.0%	48.0%	8.0%	4.0%	0.0%	100.0%

上昇	不変	低下	上昇－低下
40.0	48.0	12.0	28.0

【売上単価(加工・受注単価等)来期(R4年10月～12月)の見通し:前年同期(R3年10月～12月と比べて)

今後の見通しは不変の回答が最も多くなっています。
 売上単価が上昇すると見込む割合は28.0%です。
 業況判断DIは16.0ポイントと回復基調が見込まれています。

1.上昇	2.やや上昇	3.不変	4.やや低下	5.低下	未回答	
0	7	15	2	1	0	25
0.0%	28.0%	60.0%	8.0%	4.0%	0.0%	100.0%

上昇	不変	低下	上昇－低下
28.0	60.0	12.0	16.0

【仕入単価(原材料・製品等)】今期(R4年7月～9月)の状況:前年同期(R3年7月～9月と比べて)

仕入単価はやや上昇の回答が最も多くなっています。
 仕入単価が低下と回答した割合は0%でした。
 業況判断DIはマイナス88.0ポイントと極めて厳しい状況にあります。

1.上昇	2.やや上昇	3.不変	4.やや低下	5.低下	未回答	
7	15	3	0	0	0	25
28.0%	60.0%	12.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

低下	不変	上昇	低下－上昇
0.0	12.0	88.0	▲ 88.0

【仕入単価(原材料・製品等)】来期(R4年10月～12月)の見通し:前年同期(R3年10月～12月と比べて)

今後の見通しはやや上昇の回答が最も多くなっています。
 仕入単価が低下すると見込む割合は0%です
 業況判断DIはマイナス76.0ポイントと極めて厳しい状況が見込まれています。

1.上昇	2.やや上昇	3.不変	4.やや低下	5.低下	未回答	
7	12	5	0	0	1	25
28.0%	48.0%	20.0%	0.0%	0.0%	4.0%	100.0%

低下	不変	上昇	低下－上昇
0.0	20.0	76.0	▲ 76.0

【在庫(商品・製品等)】今期(R4年7月～9月)の状況:前年同期(R3年7月～9月と比べて)

在庫は不変の回答が最も多くなっています。
 在庫が増加と回答した割合は20.0%でした。
 業況判断DIは4.0ポイントと回復基調にあります。

1.増加	2.やや増加	3.不変	4.やや減少	5.減少	未回答	
0	5	16	4	0	0	25
0.0%	20.0%	64.0%	16.0%	0.0%	0.0%	100.0%

増加	不変	減少	増加－減少
20.0	64.0	16.0	4.0

【在庫(商品・製品等)】来期(R4年10月～12月)の見通し:前年同期(R3年10月～12月と比べて)

今後の見通しは不変の回答が最も多くなっています。
 在庫が増加すると見込む割合は20.0%です
 業況判断DIは0.0ポイントと回復基調が見込まれています。

1.増加	2.やや増加	3.不変	4.やや減少	5.減少	未回答	
0	5	15	5	0	0	25
0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%

増加	不変	減少	増加－減少
20.0	60.0	20.0	0.0

【資金繰り】今期(R4年7月～9月)の状況:前年同期(R3年7月～9月と比べて)

資金繰りは不変の回答が最も多くなっています。
 資金繰りが好転と回答した割合は4.0%でした。
 業況判断DIはマイナス32.0ポイントと極めて厳しい状況にあります。

1.好転	2.やや好転	3.不変	4.やや悪化	5.悪化	未回答	
0	1	15	7	2	0	25
0.0%	4.0%	60.0%	28.0%	8.0%	0.0%	100.0%

好転	不変	悪化	好転－悪化
4.0	60.0	36.0	▲ 32.0

【資金繰り】来期(R4年10月～12月)の見通し:前年同期(R3年10月～12月と比べて)

今後の見通しは不変の回答が最も多くなっています。
 資金繰りが好転と見込む割合は4.0%です
 業況判断DIはマイナス24.0ポイントと極めて厳しい状況が見込まれています。

1.好転	2.やや好転	3.不変	4.やや悪化	5.悪化	未回答	
0	1	17	5	2	0	25
0.0%	4.0%	68.0%	20.0%	8.0%	0.0%	100.0%

好転	不変	悪化	好転－悪化
4.0	68.0	28.0	▲ 24.0

【借入難度(含む手形割引)】今期(R4年7月～9月)の状況:前年同期(R3年7月～9月と比べて)

借入難度は不変の回答が最も多くなっています。
借入が容易と回答した割合は4.0%です
業況判断DIはマイナス8.0ポイントと引き続き厳しい状況にあります。

1.容易	2.やや容易	3.不変	4.やや困難	5.困難	未回答	
1	0	21	2	1	0	25
4.0%	0.0%	84.0%	8.0%	4.0%	0.0%	100.0%

容易	不変	困難	容易－困難
4.0	84.0	12.0	▲ 8.0

【借入難度(含む手形割引)】来期(R4年10月～12月)の見通し:前年同期(R3年10月～12月と比べて)

今後の見通しは不変の回答が最も多くなっています。
借入が容易と見込む割合は4.0%です
業況判断DIはマイナス8.0ポイントと引き続き厳しい状況が見込まれています。

1.容易	2.やや容易	3.不変	4.やや困難	5.困難	未回答	
1	0	21	2	1	0	25
4.0%	0.0%	84.0%	8.0%	4.0%	0.0%	100.0%

容易	不変	困難	容易－困難
4.0	84.0	12.0	▲ 8.0

【収益状況（経常利益）】今期（R4年7月～9月）の状況：前年同期（R3年7月～9月と比べて）

収益状況はやや悪化の回答が最も多くなっています。

収益状況が好転と回答した割合は12.0%です

業況判断DIはマイナス48.0ポイントと極めて厳しい状況が続いています。

1.好転	2.やや好転	3.不変	4.やや悪化	5.悪化	未回答	
1	2	7	12	3	0	25
4.0%	8.0%	28.0%	48.0%	12.0%	0.0%	100.0%

好転	不変	悪化	好転－悪化
12.0	28.0	60.0	▲ 48.0

【収益状況（経常利益）】来期（R4年10月～12月）の見通し：前年同期（R3年10月～12月と比べて）

今後の見通しはやや悪化の回答が最も多くなっています。

収益状況が好転と見込む割合は0.0%です

業況判断DIはマイナス60.0ポイントと極めて厳しい状況が見込まれています。

1.好転	2.やや好転	3.不変	4.やや悪化	5.悪化	未回答	
0	0	10	12	3	0	25
0.0%	0.0%	40.0%	48.0%	12.0%	0.0%	100.0%

好転	不変	悪化	好転－悪化
0.0	40.0	60.0	▲ 60.0

【設備投資】今期(R4年7月～9月)の状況:前年同期(R3年7月～9月と比べて)

設備投資は適正の回答が最も多くなっています。

設備投資が過剰と回答した割合は8.0%です

業況判断DIは52.0ポイントと高水準にあります。

1.過剰	2.やや過剰	3.適正	4.やや不足	5.不足	未回答	
0	2	19	3	1	0	25
0.0%	8.0%	76.0%	12.0%	4.0%	0.0%	100.0%

過剰	適正	不足	適正－過不足
8.0	76.0	16.0	52.0

【設備投資】来期(R4年10月～12月)の見通し:前年同期(R3年10月～12月と比べて)

今後の見通しは適正の回答が最も多くなっています。

設備投資が過剰と見込む割合は0.0%です

業況判断DIは76.0ポイントと高水準が見込まれています。

1.過剰	2.やや過剰	3.適正	4.やや不足	5.不足	未回答	
0	0	22	2	1	0	25
0.0%	0.0%	88.0%	8.0%	4.0%	0.0%	100.0%

過剰	適正	不足	適正－過不足
0.0	88.0	12.0	76.0

【雇用人員(人手)】今期(R4年7月～9月)の状況:前年同期(R3年7月～9月と比べて)

雇用人員は適正の回答が最も多くなっています。
雇用人員が過剰と見込む割合は0.0%です
業況判断DIは44.0ポイントと高水準にあります。

1.過剰	2.やや過剰	3.適正	4.やや不足	5.不足	未回答	
0	0	18	4	3	0	25
0.0%	0.0%	72.0%	16.0%	12.0%	0.0%	100.0%

過剰	適正	不足	適正－過不足
0.0	72.0	28.0	44.0

【雇用人員(人手)】来期(R4年10月～12月)の見通し:前年同期(R3年10月～12月と比べて)

今後の見通しは適正の回答が最も多くなっています。
雇用人員が過剰と見込む割合は0.0%です
業況判断DIは44.0と高水準が見込まれています。

1.過剰	2.やや過剰	3.適正	4.やや不足	5.不足	未回答	
0	0	18	4	3	0	25
0.0%	0.0%	72.0%	16.0%	12.0%	0.0%	100.0%

過剰	適正	不足	適正－過不足
0.0	72.0	28.0	44.0

2. 業種別業況調査（DI）集計

【令和4年第三四半期分】

浅口商工会

【売上高（完成工事高・加工高等）今期（R4年7月～9月）の状況：前年同期（R3年7月～9月と比べて）

	増加	不変	減少	増加－減少
製造業	20.0	20.0	60.0	▲ 40.0
建設業	0.0	40.0	60.0	▲ 60.0
卸・小売業	40.0	20.0	40.0	0.0
飲食・宿泊業	40.0	20.0	40.0	0.0
サービス業	20.0	20.0	60.0	▲ 40.0

【売上高（完成工事高・加工高等）来期（R4年10月～12月）の見通し：前年同期（R3年10月～12月と比べて）

	上昇	不変	低下	上昇－低下
製造業	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0
建設業	0.0	20.0	80.0	▲ 80.0
卸・小売業	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0
飲食・宿泊業	40.0	0.0	60.0	▲ 20.0
サービス業	20.0	20.0	60.0	▲ 40.0

【売上単価（加工・受注単価等）今期（R4年7月～9月）の状況：前年同期（R3年7月～9月と比べて）

	上昇	不変	低下	上昇－低下
製造業	60.0	40.0	0.0	60.0
建設業	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0
卸・小売業	60.0	20.0	20.0	40.0
飲食・宿泊業	20.0	80.0	0.0	20.0
サービス業	60.0	20.0	20.0	40.0

【売上単価（加工・受注単価等）来期（R4年10月～12月）の見通し：前年同期（R3年10月～12月と比べて）

	上昇	不変	低下	上昇－低下
製造業	60.0	40.0	0.0	60.0
建設業	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0
卸・小売業	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0
飲食・宿泊業	0.0	100.0	0.0	0.0
サービス業	80.0	20.0	0.0	80.0

【仕入単価(原材料・製品等)】今期(R4年7月～9月)の状況:前年同期(R3年7月～9月と比べて)

	低下	不変	上昇	低下ー上昇
製造業	0.0	20.0	80.0	▲ 80.0
建設業	0.0	20.0	80.0	▲ 80.0
卸・小売業	0.0	20.0	80.0	▲ 80.0
飲食・宿泊業	0.0	0.0	100.0	▲ 100.0
サービス業	0.0	0.0	100.0	▲ 100.0

【仕入単価(原材料・製品等)】来期(R4年10月～12月)の見通し:前年同期(R3年10月～12月と比べて)

	低下	不変	上昇	低下ー上昇
製造業	0.0	20.0	80.0	▲ 80.0
建設業	0.0	25.0	75.0	▲ 75.0
卸・小売業	0.0	40.0	60.0	▲ 60.0
飲食・宿泊業	0.0	0.0	100.0	▲ 100.0
サービス業	0.0	20.0	80.0	▲ 80.0

【在庫(商品・製品等)】今期(R4年7月～9月)の状況:前年同期(R3年7月～9月と比べて)

	増加	不変	減少	増加ー減少
製造業	20.0	40.0	40.0	▲ 20.0
建設業	0.0	100.0	0.0	0.0
卸・小売業	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0
飲食・宿泊業	40.0	60.0	0.0	40.0
サービス業	40.0	40.0	20.0	20.0

【在庫(商品・製品等)】来期(R4年10月～12月)の見通し:前年同期(R3年10月～12月と比べて)

	増加	不変	減少	増加ー減少
製造業	20.0	40.0	40.0	▲ 20.0
建設業	20.0	80.0	0.0	20.0
卸・小売業	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0
飲食・宿泊業	20.0	80.0	0.0	20.0
サービス業	40.0	40.0	20.0	20.0

【資金繰り】今期(R4年7月～9月)の状況:前年同期(R3年7月～9月と比べて)

	好転	不変	悪化	好転－悪化
製造業	20.0	40.0	40.0	▲ 20.0
建設業	0.0	100.0	0.0	0.0
卸・小売業	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0
飲食・宿泊業	0.0	20.0	80.0	▲ 80.0
サービス業	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0

【資金繰り】来期(R4年10月～12月)の見通し:前年同期(R3年10月～12月と比べて)

	好転	不変	悪化	好転－悪化
製造業	20.0	60.0	20.0	0.0
建設業	0.0	100.0	0.0	0.0
卸・小売業	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0
飲食・宿泊業	0.0	40.0	60.0	▲ 60.0
サービス業	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0

【借入難度(含む手形割引)】今期(R4年7月～9月)の状況:前年同期(R3年7月～9月と比べて)

	容易	不変	困難	容易－困難
製造業	0.0	100.0	0.0	0.0
建設業	0.0	100.0	0.0	0.0
卸・小売業	20.0	80.0	0.0	20.0
飲食・宿泊業	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0
サービス業	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0

【借入難度(含む手形割引)】来期(R4年10月～12月)の見通し:前年同期(R3年10月～12月と比べて)

	容易	不変	困難	容易－困難
製造業	0.0	100.0	0.0	0.0
建設業	0.0	100.0	0.0	0.0
卸・小売業	20.0	80.0	0.0	20.0
飲食・宿泊業	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0
サービス業	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0

【収益状況（経常利益）】今期（R4年7月～9月）の状況：前年同期（R3年7月～9月と比べて）

	好転	不変	悪化	好転－悪化
製造業	40.0	20.0	40.0	0.0
建設業	0.0	20.0	80.0	▲ 80.0
卸・小売業	20.0	40.0	40.0	▲ 20.0
飲食・宿泊業	0.0	20.0	80.0	▲ 80.0
サービス業	0.0	40.0	60.0	▲ 60.0

【収益状況（経常利益）】来期（R4年10月～12月）の見通し：前年同期（R3年10月～12月と比べて）

	好転	不変	悪化	好転－悪化
製造業	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0
建設業	0.0	20.0	80.0	▲ 80.0
卸・小売業	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0
飲食・宿泊業	0.0	20.0	80.0	▲ 80.0
サービス業	0.0	40.0	60.0	▲ 60.0

【設備投資】今期（R4年7月～9月）の状況：前年同期（R3年7月～9月と比べて）

	過剰	適正	不足	適正－過不足
製造業	0.0	100.0	0.0	100.0
建設業	0.0	100.0	0.0	100.0
卸・小売業	20.0	60.0	20.0	20.0
飲食・宿泊業	0.0	80.0	20.0	60.0
サービス業	20.0	40.0	40.0	▲ 20.0

【設備投資】来期（R4年10月～12月）の見通し：前年同期（R3年10月～12月と比べて）

	過剰	適正	不足	適正－過不足
製造業	0.0	100.0	0.0	100.0
建設業	0.0	100.0	0.0	100.0
卸・小売業	0.0	100.0	0.0	100.0
飲食・宿泊業	0.0	80.0	20.0	60.0
サービス業	0.0	60.0	40.0	20.0

【雇用人員(人手)】今期(R4年7月～9月)の状況:前年同期(R3年7月～9月と比べて)

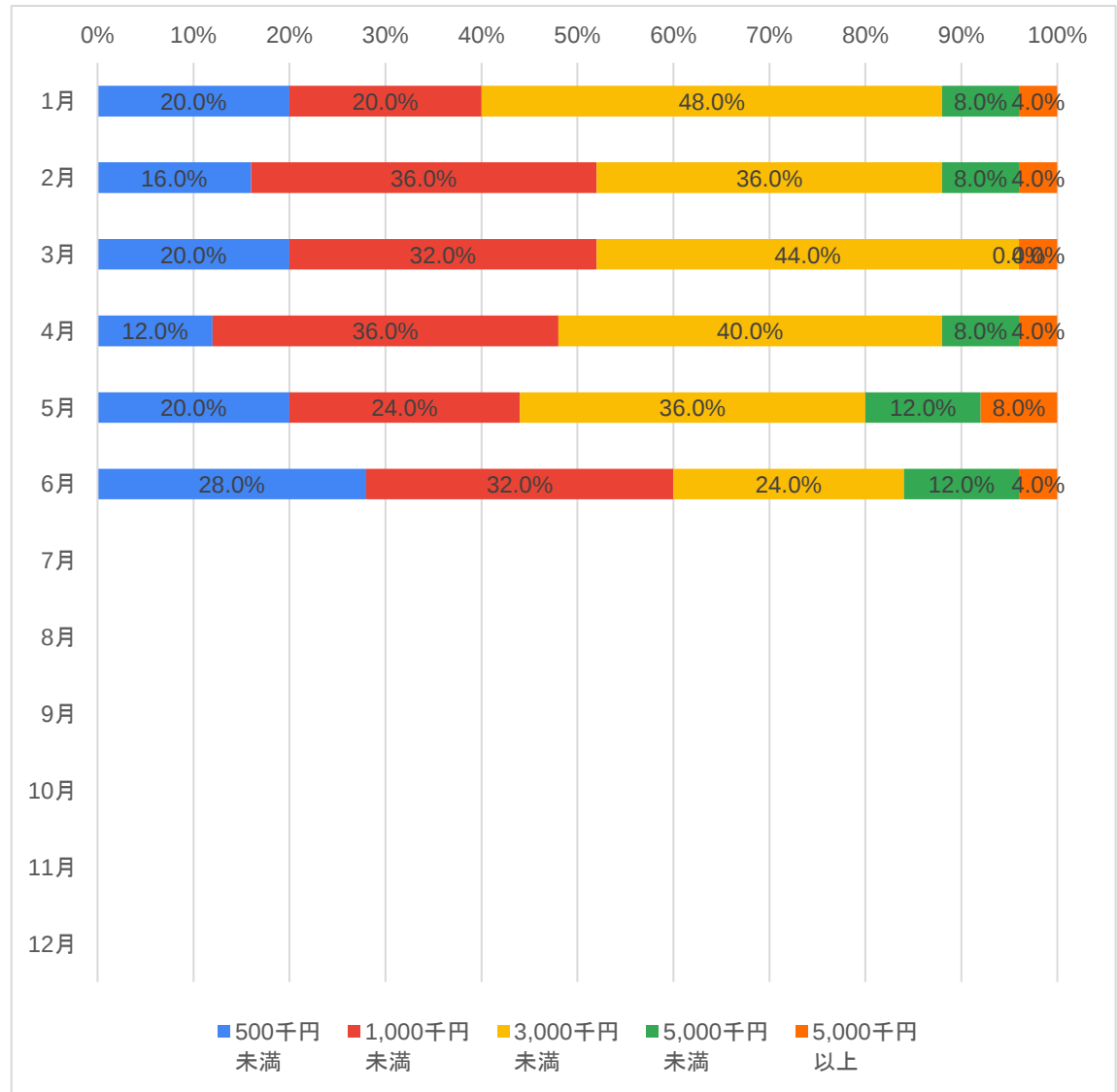
	過剰	適正	不足	適正一過不足
製造業	0.0	40.0	60.0	▲ 20.0
建設業	0.0	60.0	40.0	20.0
卸・小売業	0.0	100.0	0.0	100.0
飲食・宿泊業	0.0	60.0	40.0	20.0
サービス業	0.0	100.0	0.0	100.0

【雇用人員(人手)】来期(R4年10月～12月)の見通し:前年同期(R3年10月～12月と比べて)

	過剰	適正	不足	適正一過不足
製造業	0.0	40.0	60.0	▲ 20.0
建設業	0.0	60.0	40.0	20.0
卸・小売業	0.0	100.0	0.0	100.0
飲食・宿泊業	0.0	60.0	40.0	20.0
サービス業	0.0	100.0	0.0	100.0

3. 売上（月商）状況集計

		500千円 未満	1,000千円 未満	3,000千円 未満	5,000千円 未満	5,000千円 以上	計
令和4年	1月	20.0%	20.0%	48.0%	8.0%	4.0%	100.0%
	2月	16.0%	36.0%	36.0%	8.0%	4.0%	100.0%
	3月	20.0%	32.0%	44.0%	0.0%	4.0%	100.0%
	4月	12.0%	36.0%	40.0%	8.0%	4.0%	100.0%
	5月	20.0%	24.0%	36.0%	12.0%	8.0%	100.0%
	6月	28.0%	32.0%	24.0%	12.0%	4.0%	100.0%
	7月						
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						



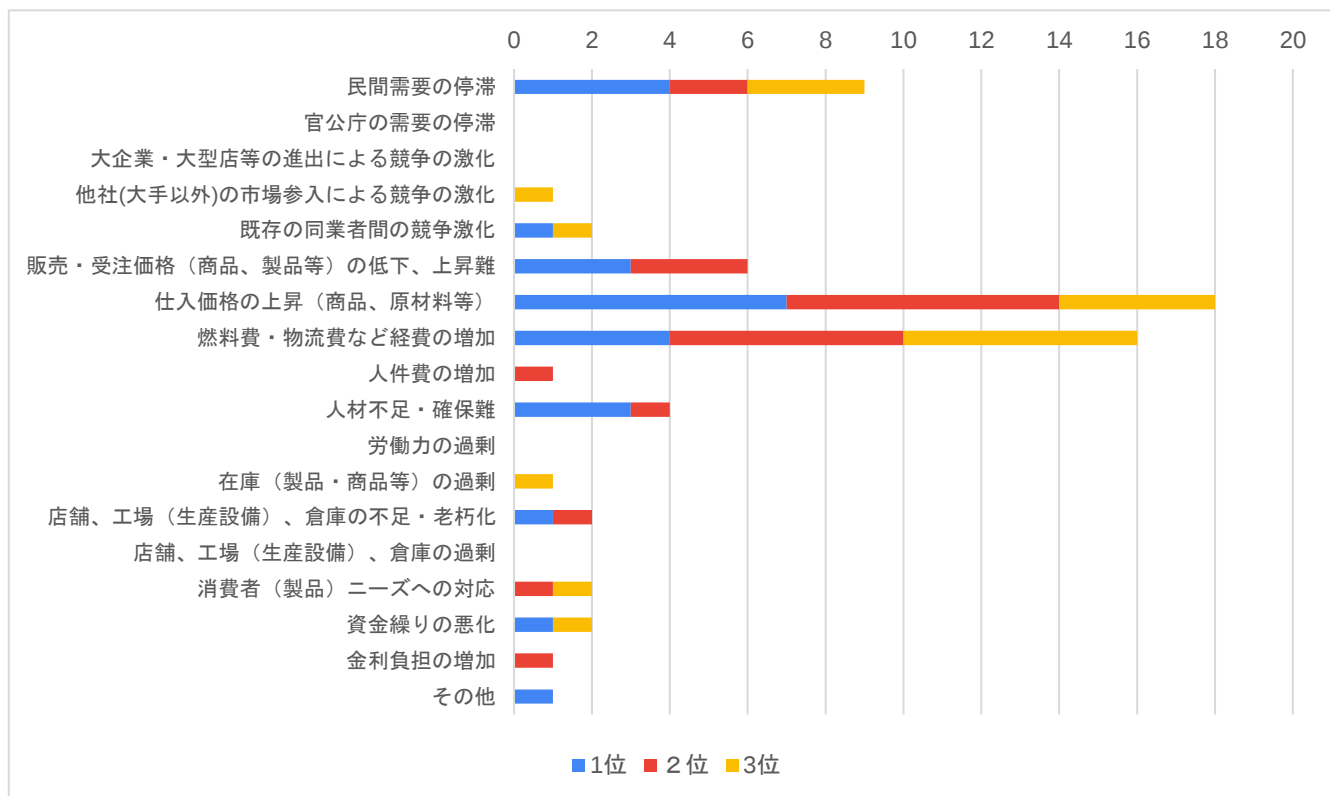
4. 経営上の問題

<質問3>

一位の最多は「仕入価格の上昇」。

回答総数では、最も多いのは「仕入価格の上昇」、次いで「燃料費・物流費などの経費の増加」。

		1位	2位	3位	計
1	民間需要の停滞	4	2	3	9
2	官公庁の需要の停滞	0	0	0	0
3	大企業・大型店等の進出による競争の激化	0	0	0	0
4	他社(大手以外)の市場参入による競争の激化	0	0	1	1
5	既存の同業者間の競争激化	1	0	1	2
6	販売・受注価格(商品、製品等)の低下、上昇難	3	3	0	6
7	仕入価格の上昇(商品、原材料等)	7	7	4	18
8	燃料費・物流費など経費の増加	4	6	6	16
9	人件費の増加	0	1	0	1
10	人材不足・確保難	3	1	0	4
11	労働力の過剰	0	0	0	0
12	在庫(製品・商品等)の過剰	0	0	1	1
13	店舗、工場(生産設備)、倉庫の不足・老朽化	1	1	0	2
14	店舗、工場(生産設備)、倉庫の過剰	0	0	0	0
15	消費者(製品)ニーズへの対応	0	1	1	2
16	資金繰りの悪化	1	0	1	2
17	金利負担の増加	0	1	0	1
18	その他	1	0	0	1



<その他の回答>

各メーカーの新車の入荷状況が悪化している。

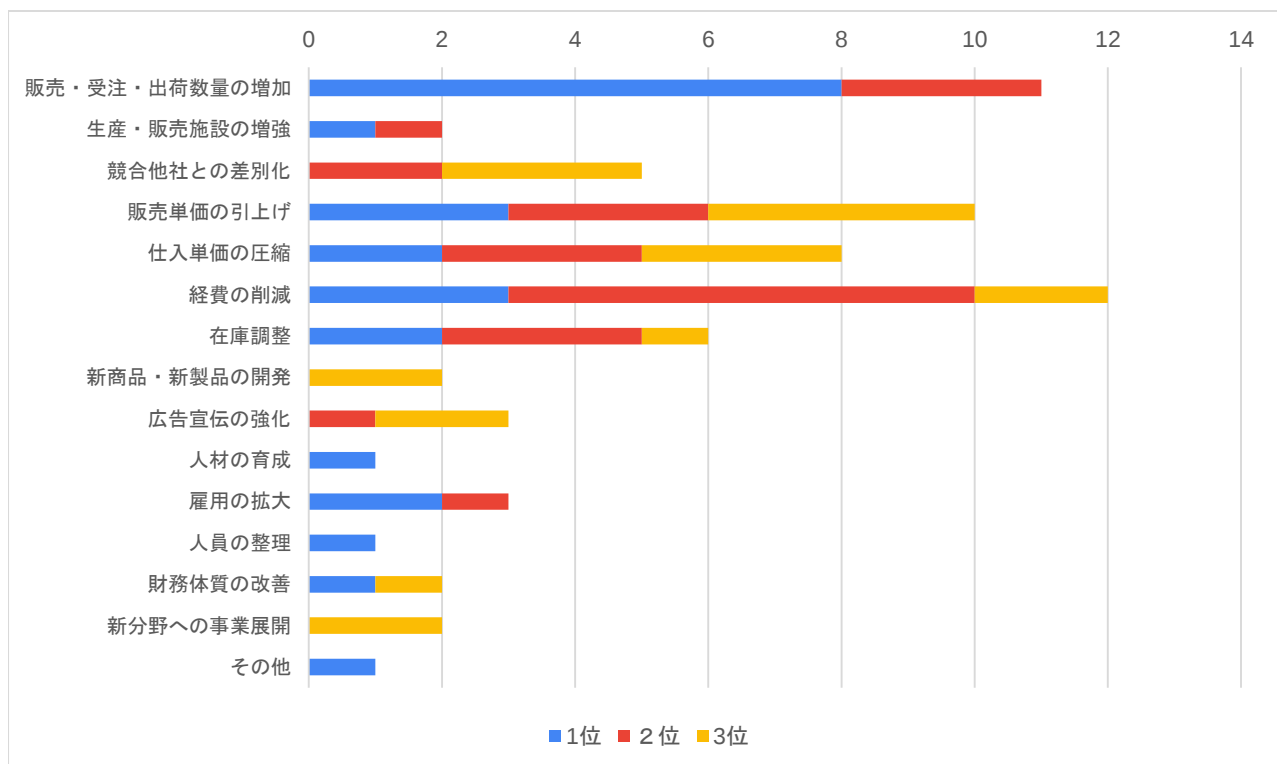
5. 経営改善対策

<質問4>

一位の最多は「販売・受注・出荷数量の増加」。

回答総数では、最も多いのは「経費の削減」、次いで「販売・受注・出荷数量の増加」。

		1位	2位	3位	計
1	販売・受注・出荷数量の増加	8	3	0	11
2	生産・販売施設の増強	1	1	0	2
3	競合他社との差別化	0	2	3	5
4	販売単価の引上げ	3	3	4	10
5	仕入単価の圧縮	2	3	3	8
6	経費の削減	3	7	2	12
7	在庫調整	2	3	1	6
8	新商品・新製品の開発	0	0	2	2
9	広告宣伝の強化	0	1	2	3
10	人材の育成	1	0	0	1
11	雇用の拡大	2	1	0	3
12	人員の整理	1	0	0	1
13	財務体質の改善	1	0	1	2
14	新分野への事業展開	0	0	2	2
15	その他	1	0	0	1



<その他の回答>
仕事量の標準化

6. 業況調査（DI）時系列集計

浅口商工会

		令和4年4～6月	令和4年7～9月	令和4年10～12月	令和5年1～3月
売上高	全体	▲ 8.0	▲ 28.0		
	製造業	▲ 20.0	▲ 40.0		
	建設業	0.0	▲ 60.0		
	卸・小売業	▲ 60.0	0.0		
	飲食・宿泊業	20.0	0.0		
	サービス業	20.0	▲ 40.0		
売上高見通し	全体	▲ 32.0	▲ 44.0		
	製造業	0.0	▲ 40.0		
	建設業	▲ 40.0	▲ 80.0		
	卸・小売業	▲ 60.0	▲ 40.0		
	飲食・宿泊業	▲ 20.0	▲ 20.0		
	サービス業	▲ 40.0	▲ 40.0		
売上単価	全体	8.0	28.0		
	製造業	40.0	60.0		
	建設業	20.0	▲ 20.0		
	卸・小売業	0.0	40.0		
	飲食・宿泊業	▲ 40.0	20.0		
	サービス業	20.0	40.0		
売上単価見通し	全体	12.0	16.0		
	製造業	20.0	60.0		
	建設業	▲ 20.0	▲ 20.0		
	卸・小売業	60.0	▲ 40.0		
	飲食・宿泊業	▲ 20.0	0.0		
	サービス業	20.0	80.0		
仕入単価	全体	▲ 76.0	▲ 88.0		
	製造業	▲ 80.0	▲ 80.0		
	建設業	▲ 60.0	▲ 80.0		
	卸・小売業	▲ 80.0	▲ 80.0		
	飲食・宿泊業	▲ 100.0	▲ 100.0		
	サービス業	▲ 60.0	▲ 100.0		
仕入単価見通し	全体	▲ 64.0	▲ 76.0		
	製造業	▲ 40.0	▲ 80.0		
	建設業	▲ 60.0	▲ 75.0		
	卸・小売業	▲ 80.0	▲ 60.0		
	飲食・宿泊業	▲ 80.0	▲ 100.0		
	サービス業	▲ 60.0	▲ 80.0		
在庫	全体	4.0	4.0		
	製造業	▲ 40.0	▲ 20.0		
	建設業	0.0	0.0		
	卸・小売業	0.0	▲ 20.0		
	飲食・宿泊業	40.0	40.0		
	サービス業	20.0	20.0		
在庫見通し	全体	0.0	0.0		
	製造業	▲ 40.0	▲ 20.0		
	建設業	0.0	20.0		
	卸・小売業	0.0	▲ 40.0		
	飲食・宿泊業	40.0	20.0		
	サービス業	0.0	20.0		

		令和4年4～6月	令和4年7～9月	令和4年10～12月	令和5年1～3月
資金繰り	全体	▲ 28.0	▲ 32.0		
	製造業	0.0	▲ 20.0		
	建設業	0.0	0.0		
	卸・小売業	▲ 40.0	▲ 40.0		
	飲食・宿泊業	▲ 80.0	▲ 80.0		
	サービス業	▲ 20.0	▲ 20.0		
資金繰り見通し	全体	▲ 16.0	▲ 24.0		
	製造業	0.0	0.0		
	建設業	0.0	0.0		
	卸・小売業	▲ 40.0	▲ 40.0		
	飲食・宿泊業	▲ 20.0	▲ 60.0		
	サービス業	▲ 20.0	▲ 20.0		
借入難度	全体	4.0	▲ 8.0		
	製造業	0.0	0.0		
	建設業	20.0	0.0		
	卸・小売業	20.0	20.0		
	飲食・宿泊業	▲ 20.0	▲ 40.0		
	サービス業	0.0	▲ 20.0		
借入難度見通し	全体	▲ 4.0	▲ 8.0		
	製造業	0.0	0.0		
	建設業	20.0	0.0		
	卸・小売業	0.0	20.0		
	飲食・宿泊業	▲ 40.0	▲ 40.0		
	サービス業	0.0	▲ 20.0		
収益状況	全体	▲ 32.0	▲ 48.0		
	製造業	▲ 25.0	0.0		
	建設業	▲ 40.0	▲ 80.0		
	卸・小売業	▲ 40.0	▲ 20.0		
	飲食・宿泊業	▲ 60.0	▲ 80.0		
	サービス業	0.0	▲ 60.0		
収益状況見通し	全体	▲ 32.0	▲ 60.0		
	製造業	0.0	▲ 40.0		
	建設業	▲ 40.0	▲ 80.0		
	卸・小売業	▲ 40.0	▲ 40.0		
	飲食・宿泊業	▲ 60.0	▲ 80.0		
	サービス業	▲ 20.0	▲ 60.0		
設備投資(過不足)	全体	44.0	52.0		
	製造業	20.0	100.0		
	建設業	60.0	100.0		
	卸・小売業	100.0	20.0		
	飲食・宿泊業	▲ 20.0	60.0		
	サービス業	60.0	▲ 20.0		
設備投資見通し(過不足)	全体	52.0	76.0		
	製造業	20.0	100.0		
	建設業	60.0	100.0		
	卸・小売業	100.0	100.0		
	飲食・宿泊業	20.0	60.0		
	サービス業	60.0	20.0		

		令和4年4～6月	令和4年7～9月	令和4年10～12月	令和5年1～3月
雇用人員(過不足)	全体	36.0	44.0		
	製造業	20.0	▲ 20.0		
	建設業	20.0	20.0		
	卸・小売業	100.0	100.0		
	飲食・宿泊業	▲ 20.0	20.0		
	サービス業	60.0	100.0		
雇用人員見通し(過不足)	全体	52.0	44.0		
	製造業	20.0	▲ 20.0		
	建設業	20.0	20.0		
	卸・小売業	100.0	100.0		
	飲食・宿泊業	60.0	20.0		
	サービス業	60.0	100.0		

7. 自由回答

＜質問5＞その他（貴社又は業界の景気動向、財政・金融政策に対する要望など）

インボイスが始まると厳しいと思う。
仕入の値上げがネックになっている。多少の値上げはする予定であるが、仕入値上昇の方が大きい。
建設業の景気が芳しくない。新たな財政政策を打ち出してほしい。
需要人口の減少により売上が減少傾向です。
10～12月の見通しはたたない。
オイル交換の工賃を引き上げるか検討していますが、2022年8月に100円値上げしたので悩んでいます。（オイルの仕入金額は上がっています。）
仕入値の高騰が激しい。値上げせざるを得ないが、客離れも心配。
新規事業を始めたが、まだ顧客がついていないため在庫が増えている。
要望は今は我慢の時かなと考えております。